

# KN グローカルリサーチレポート

2022年7月  
No.75

今年の梅雨の期間は史上最短になったようです。東海地方の梅雨入りは6月14日頃（平年より8日遅く、昨年より1日遅い）で、梅雨明けは6月27日頃（平年より22日早く、昨年より20日早い）の14日でした。夏の水不足が心配です。

梅雨は明けましたが、近年では7月に大きな災害が発生しています。昨年の7月3日は熱海市で大規模な土石流が発生し、一昨年の7月4日には熊本県の球磨川が氾濫しました。

気象庁では6月から「線状降水帯」の予報を発表する体制を整えました。「線状降水帯」とは、積乱雲が線状に次々に発生してほぼ同じ場所を通過・停滞する雨域で、非常に強い雨が特定の地域に長時間連続して降り続き、水害や土砂災害の発生確率が高くなります。気象庁はこの「線状降水帯」を約半日から約6時間前に予報することで、早めの備えを促します。

## 家庭ごみ有料化の「素案」=1リットル1円

浜松市は家庭ごみを有料化する方針を固め、6月13日の浜松市議会・環境経済委員会に「家庭ごみ有料化に関する制度素案について」を提出した。素案では、「もえるごみ」と「もえないごみ」を出す際に使う『指定ごみ袋』の手数料を1リットルにつき1円としている。

■表1

品目	出し方
もえるごみ	有料指定ごみ袋に入れて排出
もえないごみ	手数料は1リットル1円
プラスチック製容器包装	現行通り 手数料無し
びん・かん・ペットボトル	*プラスチック製包装容器は
特定品目	現行のごみ袋を引き続き使用

浜松市内の某スーパーでの指定ゴミ袋の販売価格は、45リットル入り55枚で327円（税込）であった。1枚は、

$$327 \text{円} \div 55 \text{枚} = 5.9 \text{円}$$

もし有料となると、45リットル入りのゴミ袋には手数料45円が上乗せされるので、5.9円+45円=50.9円/1枚となり、55枚で2,799.5円（税込）となる。55枚セットが、327円から2,799.5円となる計算だ。

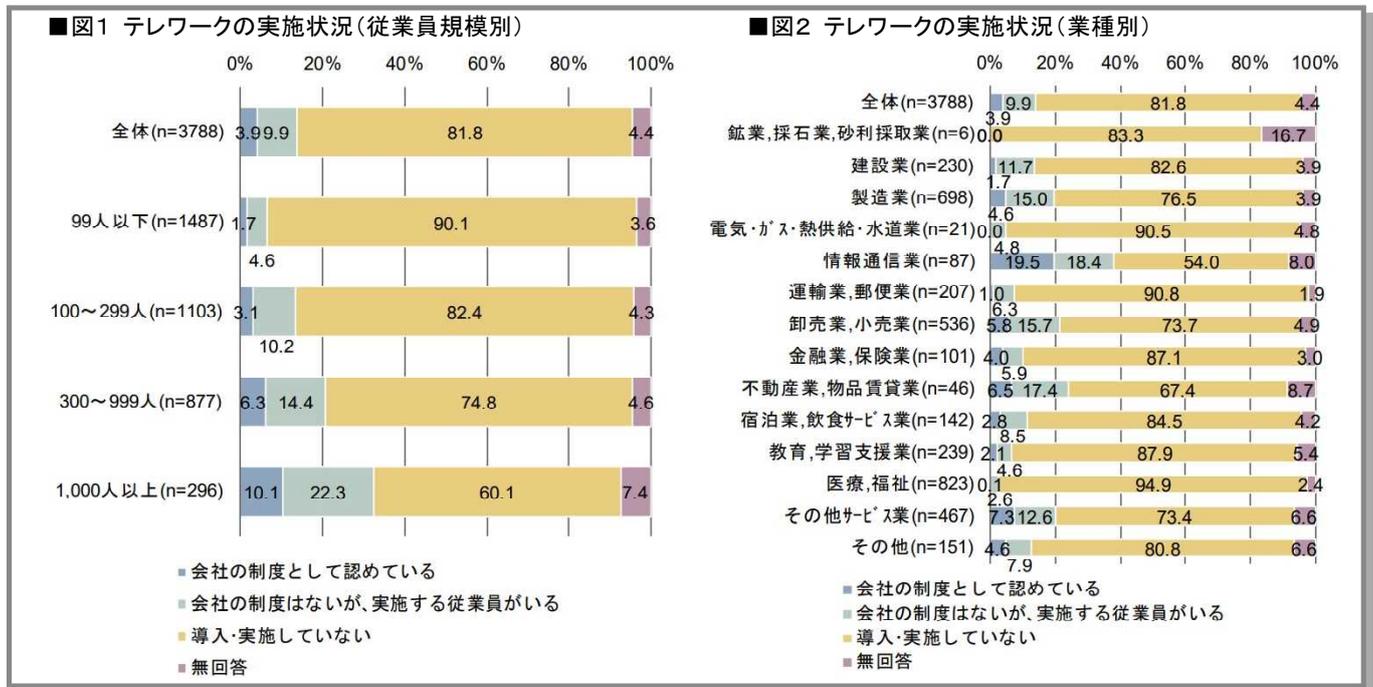
浜松市では、今後、住民説明会やホームページなどで素案への意見を募っていく。





厚生労働省の『テレワークの労務管理等に関する実態調査』によると、テレワークを実施している企業は全体の13.8%で、従業員数が多くなるほど実施している割合は高くなる。

テレワークを実施している業種は「情報通信業」が多く、「不動産業・物品賃貸業」、「その他サービス業」、「卸売業・小売業」となっている。



**■テレワークのメリット(上位5つ)**

1. 通勤時間を節約することができる
2. 通勤による心身の負担が少ない
3. 隙間時間などを有効活用することができる
4. 急な仕事の依頼や余計な会話が減って、担当している業務に集中できる
5. リラックスした空間で仕事ができる

**■テレワークのデメリット(上位5つ)**

1. 同僚や部下とのコミュニケーションがとりにくい
2. 上司とのコミュニケーションがとりにくい
3. 在宅勤務で可能な業務に限られる
4. OA機器が揃っていない
5. 仕事と仕事以外の時間の切り分けが難しい

静岡県では、テレワークの推進に関するwebサイトを開設し、『テレワーク導入ガイドブック』のダウンロードや相談窓口の紹介等を行っている。



浜松市では、テレワークを含むデジタル化を推進するため、『浜松市新型コロナウイルス感染症対策デジタル化補助金』制度を設け、市内の中小企業や個人事業者へ助成を行っている。

**■テレワークを活用するために必要なこと(上位5つ)**

1. 職場の方針としてテレワークを積極的に活用しようとする
2. ペーパーレス化の推進
3. 紙書類への押印をなくす
4. 自宅のICT環境の改善・充実
5. 社外から業務に必要な電子ファイル等にアクセスできるようにすること



2022年6月27日執筆

執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士  
 浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org